

関西広域地方計画中間整理(素案) 概要

第1部 関西の特徴

■歴史が深く息づき、個性的で多様な地域からなる関西 P1~2

・関西には、世界文化遺産15件中5件、国宝の約6割、重要文化財の約5割を有し、それぞれの地域が長い歴史を有し、個性的で多様な地域で構成されている。

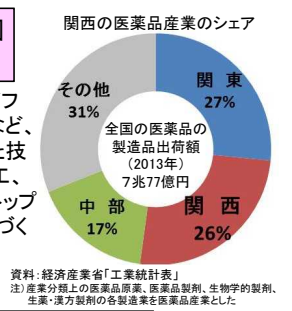
■産業等の諸機能の集積が進んだ関西 P2

・関西は、西日本で最も産業、学術、中枢管理や国際交流といった諸機能の集積が進んだ圏域である。



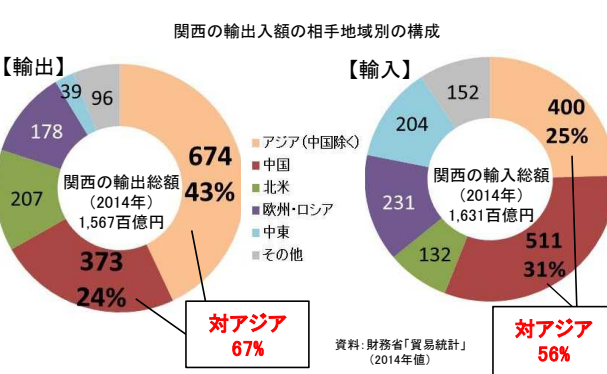
■最先端の技術力で我が国を牽引する関西 P2~3

・関西は、医薬品等のバイオ・ライフサイエンス産業やロボット産業など、次世代を先導する産業の優れた技術力を有する企業や、機械・加工、素材・化学のグローバルニッチトップ企業など、多様で層の厚いものづくり産業の基盤を有している。



■アジアとのつながりが深い関西 P3

・関西の貿易額に占めるアジア貿易の割合は約6割
・関西国際空港は、国際就航便のうち、約8割はアジア路線。



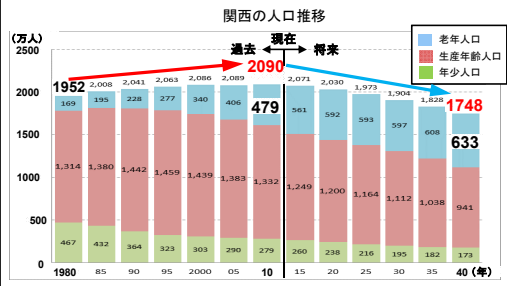
■人と自然のつながりが深い関西 P3~4

・京阪神都市圏の外縁に存する山系のほか、都心部から比較的近くに自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなどが複合的に楽しめる山々が多数存在し、都市と自然の魅力を同時に享受できる。

関西を取り巻く現状と課題

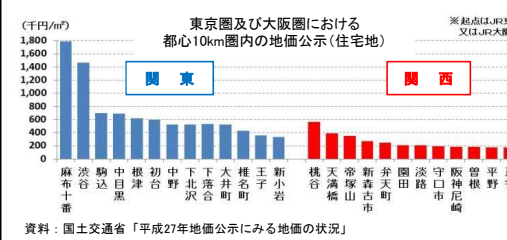
○本格的な人口減少社会の到来と急激な高齢化の進展 P4~6

・関西の人口は、2010年をピークに減少、生産年齢人口は減少の一途である。
・一方、65歳以上人口は、2010年では約480万人だが、2040年には約630万人に増加すると推定されている。



○関西の発展を支える都市圏の状況 P9~10

・京阪神都市圏は、道路ネットワークの整備が遅れ、渋滞が慢性化。また、地震時に危険な密集市街地も残存している。
・京阪神都市圏には、核となる都市が複数あり、都市活動は必ずしも大阪に集中しておらず、通勤通学時間は比較的短く、コンパクトな都市圏となっており、東京圏に比べ地価が安い等、暮らしやすい都市圏としてのポテンシャルが高い。



○関西を脅かす自然災害リスク P11~12

・今後30年以内に70%程度の確率で南海トラフ地震の発生が危惧されており、関西に大規模な被害の発生が想定されている。
・近年、「今まで経験したことがない」と表現されるように全国各地で雨の降り方が局地化、集中化、激甚化している。
・都市機能が集積している大阪平野の多くはゼロメートル地帯であり、地下街も発達していることから、水害のリスクは極めて高い。

○社会資本の老朽化 P12~13

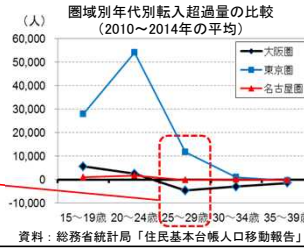
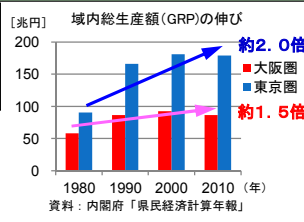
・橋梁、トンネル等、対策が必要とされる施設が増加し、建設後50年を経過する施設の割合が加速度的に高くなるため、戦略的かつ適切な維持管理・更新を進めることが必要となるが、地方自治体において、老朽化対策に必要とされる技術力・人員確保等の課題が生じている。

○関西を巻き込む大きな社会の潮流変化 P13~15

・食糧・水・エネルギーの制約、地球環境問題／ライフスタイルの多様化／コミュニティの弱体化／ICTの劇的な進歩など技術革新の進展

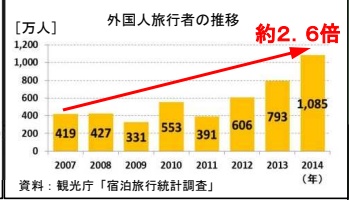
○関西の相対的地位の低下と東京一極集中からの脱却 P6~8

・1980年から2010年までの大阪圏における域内総生産の伸びが約1.5倍であるのに対し、東京圏では約2.0倍と差が開いている。
・大阪圏は東京圏や名古屋圏が20歳代後半の層でも流入しているのに対し、唯一流出している。



○外国人旅行者の急激な増加 P8~9

・外国人旅行者は、2007年から2014年の7年間で約2.6倍に増加している。
・関西には多くの魅力が隠れており、広域的な観光資源の活用を目指した海外プロモーションの連携強化が課題である。



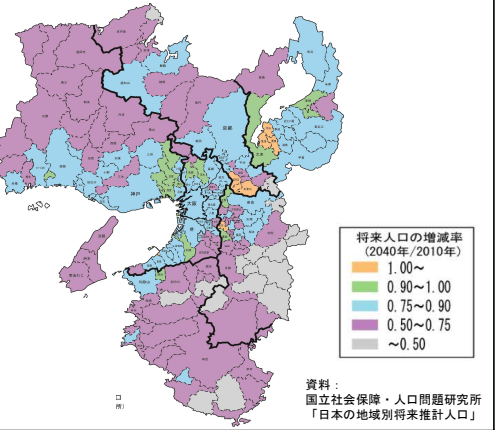
大都市圏における環状道路整備状況



○地方都市の活力低下と農山漁村の集落機能の低下 P10~11

・地方都市では人口の減少・高齢化や中心市街地の空洞化、低未利用地・空き家の増加が進んでいる。
・農山漁村では農林水産業の総産出額の減少、従事者の高齢化、耕作放棄地・施設が行われない森林の増加等、集落機能の低下が進行。

関西の市町村別将来人口増減率(2010年→2040年)



関西広域地方計画中間整理(素案) 概要

第2部

<関西の目指す姿>

2-1 アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域 P17

- アジアを中心に世界との活発な交流を通じ、我が国の経済の中核として成長し、スーパー・メガリージョンの一翼を担う
- 研究開発拠点及び知の交流拠点の連携を進め、次世代産業が健康・医療産業等の分野で次々と生まれる
- グローバルニッチトップ企業等が生まれ成長していく
- 長い歴史・伝統文化を強みとした観光により我が国の成長を牽引する
- 東京との対峙ではなく、世界を見据えたチャレンジングな成長エンジン
- 西日本と連携し、日本海・太平洋2面活用の利点を活かしながら、アジアを中心とした世界のゲートウェイとしての地位を築く圏域。

<戦略のイメージ>

(1) 成長エンジンとなる新たな産業の創出 P17~20

- ・産学官の連携のもとで「知の拠点」を形成、関西イノベーション国際戦略総合特区及び関西圏国家戦略特区の取組を強力に進め、健康・医療産業等の次世代産業の創出 等
- ・グローバルニッチトップ企業への支援、製品の高付加価値化 等

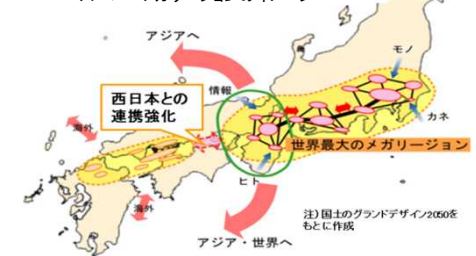
(2) 国内外のネットワーク機能の強化による対流促進

- ・リニア中央新幹線を見据え、スーパー・メガリージョンの一翼としてヒトやモノの対流を促進。
- ・既存空港の連携強化、道路のミッシングリンク解消、北陸新幹線を見据えた日本海・太平洋2面活用 等

(3) イノベーションを支え、創造性豊かな人材を集積する環境整備

- ・国内外の優秀な学生・研究者等が集い就労することを支援 等

スーパーメガリージョンのイメージ



(1) 歴史・伝統文化の継承・活用と新たな地域資源の発掘 P20~24

- ・歴史・文化資産や伝統芸能など、日本の歴史・文化を象徴する有形・無形資産の保全・継承、新たな観光資源の発掘、活用 等

(2) 広域観光・国際観光の推進

- ・関西広域観光戦略の推進による訪日外国人の関西への来訪増
- ・交通アクセスの改善、多言語案内等による受入環境の整備 等

(3) アジア・世界への情報発信力の強化

- ・関西が一体となった情報発信、関西プロモーションの展開 等

大阪の賑わい(道頓堀)



多言語案内表示



関西領事館フォーラム会合



(1) 快適で暮らしやすい都市環境の形成 P24~28

- ・京阪神都市圏では、職住接近等の暮らしやすい可能性を活かし、子育て、健康・医療分野等の充実を図り、誰もが暮らしやすい居住環境を整備
- ・コンパクト+ネットワークの都市形成、スマートウェルネス住宅・シティの推進 等

(2) 地方都市の再生

- ・広域道路ネットワーク整備等による地方都市間の連携強化、連携中枢都市圏の形成
- ・二地域居住の促進、地場産業の競争力強化、農業の第6次産業化 等

(3) 過疎化する集落の維持・再生

- ・地域資源の維持や国土の保全を図るため、交通ネットワーク強化により「小さな拠点」を形成し、生活サービス機能を維持。そこを核として農業・観光等を振興。
- ・道の駅を防災・観光等地域拠点として活用、過疎地域と都市との共生・対流や移住の促進 等

(4) どこにいても基本的な生活サービスが享受できる環境の整備

- ・高速道路ネットワークの整備、医療資材や人材確保の連携、ドクターヘリの活用 等

(5) 地域の担い手を確保する環境づくりの推進

- ・若者が希望を持って働ける社会、高齢者が活躍できる社会、女性が働きやすい社会の実現 等



出典:「国土のグランドデザイン2050」パンフレット

コンパクトなまちづくりのイメージ



(1) 南海トラフ巨大地震等への備え P29~33

- ・耐震化対策、液状化対策、津波対策、命の道の整備、ハード・ソフトの防災・減災対策 等

(2) 災害に強くなやかな国土の構築

- ・国土強靱化地域計画による対策推進、激甚化する自然現象に対応した治水対策、防災関係機関が連携した避難訓練の実施 等

(3) 社会資本の老朽化対策の推進

(4) 首都圏の有する諸機能のバックアップ

(5) 日常生活の安全・安心

近畿自動車道紀勢線に設置された避難階段



出典:近畿地方整備局

走行型高速3Dトンネル点検の状況



出典:近畿地方整備局

2-4 暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域 P29

- 南海トラフ巨大地震や集中豪雨をはじめとした激甚化する自然の脅威から人々の生命・財産を守る
- 社会資本の老朽化対策等が着実に実施され、安全・安心な生活や経済社会活動が営める
- 首都圏の非常時に首都圏の有する諸機能のバックアップを担う圏域。

2-5 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域 P34

- 様々な環境対策に圏域全体で取り組む環境先進圏域として、世界に貢献する
- 健全な水循環系の構築、多様な生態系の保全・再生に向け、環境再生等に取り組む
- 関西の地域特性や資源循環の性質等に応じて、循環型社会を実現する圏域。

(1) 都市環境の改善 P34~36

- (2) 農山村地域の環境保全
- (3) 健全な流域圏と生態系の保全・再生
- (4) 自然との共生の推進
- (5) 循環型社会の構築
- (6) 環境・エネルギー技術での世界貢献
- (7) 地球温暖化対策の推進



出典:堺市



出典:近畿地方整備局



出典:近畿地方整備局

プロジェクト骨子(素案)の構成

< 関西の目指す姿と戦略 >

アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域

- 1**
1. 成長エンジンとなる新たな産業の創出
 2. 国内外のネットワーク機能の強化による対流促進
 3. イノベーションを支え、創造性豊かな人材を集積する環境整備

日本の歴史・伝統文化が集積し、世界を魅了し続ける圏域

- 2**
1. 歴史・伝統文化の継承・活用と新たな地域資源の発掘
 2. 広域観光・国際観光の推進
 3. アジア・世界への情報発信力の強化

快適で豊かに生き生きと暮らせる圏域

- 3**
1. 快適で暮らしやすい都市環境の形成
 2. 地方都市の再生
 3. 過疎化する集落の維持・再生
 4. どこどこでも基本的な生活サービスが享受できる環境の整備
 5. 地域の担い手を確保する環境づくりの推進

暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域

- 4**
1. 南海トラフ巨大地震等への備え
 2. 災害に対し強くしなやかな国土の構築
 3. 社会資本の老朽化対策の推進
 4. 首都圏の有する諸機能のバックアップ
 5. 日常生活の安全・安心

人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

- 5**
1. 都市環境の改善
 2. 農山村地域の環境保全
 3. 健全な流域圏と生態系の保全・再生
 4. 自然との共生の推進
 5. 循環社会の構築
 6. 環境・エネルギー技術での世界貢献
 7. 地球温暖化対策の推進

< 主要プロジェクト(案) >

1 関西ゲートウェイ+ネットワークプロジェクト

(関西が成長するための土台づくり)

- 高規格幹線道路等による道路ネットワーク整備事業
- 関西国際空港の機能強化事業
- 阪神港(神戸港・大阪港)の国際競争力強化事業
- 国際拠点港湾、重要港湾の整備推進事業
- 等

2 関西成長エンジンプロジェクト

(次世代産業の創出)

- 医療イノベーションによる健康・医療産業の成長エンジン化事業
- イノベーションを支える知の拠点整備事業
- ナレッジキャピタルなどから発信するイノベーション創出事業
- 世界をリードするバッテリースーパークラスター事業
- 等

3 歴史・文化・おもてなしプロジェクト

(歴史・文化・観光)

- 歴史・伝統文化の継承・活用と新たな地域資源の発掘・育成事業
- 観光ネットワーク強化・形成事業
- 外国人旅行者の受入環境整備事業
- 関西国際空港等へのアクセス強化事業
- 等

4 京阪神燦々まちづくりプロジェクト

(京阪神地域のまちづくり)

- 育児・医療・福祉環境の充実による誰もが住みやすい燦々まちづくり事業
- 主要駅を含めた都市機能のリノベーション事業
- 燦々まちづくりを支える交通基盤事業
- 等

5 地方都市活力アッププロジェクト

(地方都市のまちづくり)

- コンパクトシティ化による地方都市活性化事業
- 連携中枢都市圏等の形成事業
- 都市間を結ぶネットワーク強化事業
- 関西の地方の強みを活かした地域産業活力アップ事業
- 等

6 農山漁村いきいきプロジェクト

(中山間・過疎地のまちづくり)

- 小さな拠点の形成事業
- 農山漁村をいきいきさせるネットワーク形成事業
- 地域おこし・ふるさと企業支援事業
- 農業担い手確保事業
- 等

7 関西強靱化・防災連携プロジェクト

(防災・減災、老朽化)

- 南海トラフ地震などの大規模地震・津波対策事業
- 洪水・高潮などの水害、土砂災害対策事業
- インフラ長寿命化推進事業
- 「命の道」等の整備事業
- 防災意識の向上事業
- 等

8 環境共生プロジェクト

(自然との共生、省エネルギー)

- 健全な水循環形成事業
- 生物多様性の確保事業
- 循環型社会の構築事業
- 等